

2年 学年だより

大阪市立矢田中学校
第24号
2025年3月7日
発行

インタビュー:本日は、2月24日(月)の大阪マラソン2025に参加した6名の方にお越しいただきました。芦田先生・岡部先生・中川先生・西先生・横江先生・マイケル先生、よろしくお願いします。

先生方:よろしくお願いします。

インタビュー:大阪マラソンに参加しようと声をかけたのはマイケル先生ということですが。

マイケル先生:2年連続でしたが、いわゆる「ノリ」です。

インタビュー:そんなマイケル先生の「ノリ」が、皆さんの背を押したわけですね。

岡部先生:人生で1回はマラソンに挑戦したいなと思っています。

中川先生:もともと興味はありました。

横江先生:誘っていただいて、グループでの出場も楽しそうだったからです。

芦田先生:大阪に住んでいるからには一度は参加してみたかったのできっかけをもらえて感謝です!

西先生:今までやったことのないことに挑戦してみたいと思ったから、参加しました。

インタビュー:参加してみて、どうでしたか?

横江先生:約3万人が出場ということで、人の多さや熱気、熱意がすごかったです。

中川先生:とっってもたくさんの人が出てる...!! 走り終わった後は...身体中とっっても痛いけど、走れて良かったと思えました。

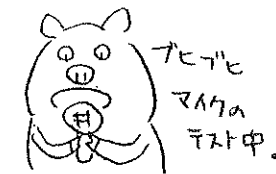
インタビュー:42.195kmも走るのって、やっぱり大変だったんですね。

西先生:そうですね、想像以上にしんどくて、今まで徒歩10分で歩けた距離が、今は徒歩20分かかっています。でも想像以上に楽しかったです。

芦田先生:とても楽しかったです。思っていたよりずっと“あっという間”でした。スタートの時にはアンミカさんと吉村知事を生で見て、途中でかわいいアナウンサーが笑顔で走っているのを見て、他にも仮装している人がたくさんいました! お菓子やドリンクも食べ放題でお祭りみ

たいでした!

マイケル先生:バナナの美味しさに感動。



岡部先生:大久保嘉人さん(元サッカー日本代表選手)、山崎香佳アナウンサーを見ました。めっちゃつらかったけど、応援の力ががんばりきりました。

インタビュー:応援の力ってやっぱりすごかったですか。



岡部先生:みんな来てくれました。

横江先生:応援メッセージや沿道からの応援をしていただきました。すごーっつく力をもらいました。これまた応援される喜びを大人になって経験できて感謝です。

西先生:みんな応援してくれました。あと妻からは応援だけでなく「(エントリー料に)2万払ってるんだから絶対完走しいや」と喝を入れてもらいました。

インタビュー:ユーモアをまじえての愛ある喝ですね。参加すると聞いて、ご家族もびっくりしたんではないですか?

芦田先生:「完走したなんてすごい!」と言ってもらえました♪

中川先生:周りは「がんばって下さい!」、家族は「えっなんで走るの?」って(笑)

(裏に続きます)

2年生、3月の主な行事予定

3月10日(月) 3月11日(火) 3月12日(水)	特別時間割 卒業式練習		
3月13日(木)	特別時間割 3年生を送る会 卒業式予行 午後: 式場準備	3月19日(水)	45分×4 教育懇談
3月14日(金)	卒業式	3月20日(木)	春分の日
3月17日(月)	45分×4 教育懇談 特別時間割 進路学習	3月21日(金)	45分×4 教育懇談 2・3限: スポーツ大会 4限: 学活
3月18日(火)	45分×4 教育懇談 給食なし (4限後下校のため昼食不要)	3月24日(月)	修了式

インタビュアー: マラソンに参加する前と後とで、変わったことはありますか？

西先生: 精神的に、やり切ることが出来るんだという自信が生まれました。

横江先生: 今年も、1つやりきったことができたなあ、と安堵と達成感があります。大人になって、点数など目にみえてやりきることがないので…。

岡部先生: もっと対策・練習をしなければかなと思いました。次走るなら、4時間30分を切りたいと思いました。

芦田先生: 大人になっても“挑戦、練習、達成！最高！！”なんて経験ができたことに感動しました！ 本当に良い思い出になりました。

マイケル先生: 笑えるぐらいの全身の痛み。

岡部先生: 確かに。足いたすぎ！！

インタビュアー: (笑) 体は疲れていても、皆さん、晴れ晴れとして見えます。生徒のみんなに伝えたいことはありますか？

岡部先生: 応援ってすごいということ。心が折れそうなときに、もう1回がんばろうと思えたから。それから、ゴール後の達成感、半端ないです！！ 何回もリタイアしようと思ったけど、走り続けた後の感動は忘れません！！

西先生: 本当に。あきらめずにやりとげた時の達成感はすばらしい！！ しんどい時に力になるのは家族や友達など、周りの応援でした。

マイケル先生: 本当にしんどい時こそ、周りの応援が有り難かったです。終盤、痛かったり寒かったりでメンタルが崩壊しそうになりましたが、応援が励みになりました。

芦田先生: 「絶対にムリ」と思うことほど成し遂げたときの達成感は大きいです！ 挑戦したという経験は一生の宝になるのでぜひ何かに挑戦してみてください！

横江先生: 何かに取り組んで、やりきることは大人になっても、自分を高め、安心させてくれます。

中川先生: 挑戦するからには弱気にならない。あと、それなりの準備が大事。水泳部・登山部のみんな、一緒に走ってくれてありがとう！！

インタビュアー: ちなみに、次に挑戦してみたいことはありますか？

マイケル先生: しばらく考えさせてください…。

インタビュアー: ーっと、マイケル先生は控えめですが、でもまた「ノリ」で沢山の人を巻き込

んで新しいチャレンジをされるんでしょう？ 他の先生方はどうですか？

芦田先生: たくさんあります！！ マラソンでもっと良いタイムを出せるようにしたいし、本が好きなのでもっとたくさん読みたいです。カメラを持って登山にも行ってみたいです！

中川先生: 久しぶりに自分に負けて悔しい気持ちになりました。もう1回マラソン出るなら、歩かないを死守してやりたいです。他にも楽しそうなことがあれば誘って下さい！

横江先生: いつか海外のマラソンを走りたいですね、いつか…。

岡部先生: 富士山に登ってみたいです。そして、次走るならば、目指せサブ4.5！！

西先生: やったことないことをどんどんやってみたいです。スキューバ、スカイダイビングなど。でもとりあえず一番先にしたいこと、ーすべきことは、ダイエットです。

インタビュアー: 生徒の皆さん、先生方の挑戦はこれからも続きます。ご期待下さい。先生方、新しいニュースがあったら、またお話を聞かせてください。本日はありがとうございました。

先生方: ありがとうございました。

